

ヴィーブル & 情報

月 末 休 館 日 ヴィーブルトレーニングルーム・合志歴史資料館・合志図書館 5月31日(月)

合志市文化芸術自主事業 人形劇団ブーク 「エルマーのぼうけん」公演

世界中の子どもたちに愛され続けている児童文学の傑作を人形劇でお届けします。
心優しいエルマー少年と一緒にハラハラ、ドキドキの冒険の旅に出かけませんか？
ご家族での来場をお待ちしています！



- と き 6月12日(土)
開場:午後2時30分 開演:午後3時
- と ころ ヴィーブル 文化会館
- 入 場 料(全席自由)
前売券 親子ペア券2,000円(一般と中学生以下)
一般券 1,500円
中学生以下券 1,000円
※当日券は各500円増しです。
5月11日(火)午前9時から前売券発売
協力/合志市子ども劇場
助成/日本芸術文化振興会
- プレイガイド
ヴィーブル・御代志市民センター・泉ヶ丘支所・須屋支所・各コミュニティ(野々島・須屋・黒石・合生)・ユーパレス弁天・ムサシプラザ
※各施設の休館日は券の購入はできません。

いずれも申し込み・問い合わせ先は
生涯学習課 生涯学習班(ヴィーブル)
☎248-5555

市内の合志三十三観音を 訪ね歩く！ 「ふるさと探訪バス」参加者募集

- 旧合志郡内の33カ所の観音様を巡る「合志三十三観音」のうち、市内にある10カ所と周辺の遺跡をバスと徒歩で巡ります。
- と き 5月28日(金) 午前10時～午後3時
※少雨決行
 - 対 象 合志市民
 - 人 数 40人※応募者多数の場合は抽選
 - 申込期限 5月25日(火) 午後5時まで
 - 参 加 費 無料
 - 持ってくる物 弁当・水筒・タオル
※3～4km程歩きますので、運動靴やジャージ、リュックなど歩きやすい服装でご参加ください。

「放課後子ども教室」 学習アドバイザー・講師を募集

- 西合志第一小学校で開催する平成22年度放課後子ども教室のお手伝いをしてもらえ人を募集しています！
- 学習アドバイザー
(内容)1～3年生の放課後の学習活動の指導や体験活動の支援
(活動日時)毎週木曜日 午後3時～5時
(対象)教員免許を持っている人が望ましいですが、経験者であれば資格は問いません。
 - 講師
(内容)1～3年生の豊かな学び・遊び体験、地域の人との交流などを目的とした活動の講師
(活動日時)毎週木曜日 午後3時～5時
(対象)何か特技をお持ちの人！
昔遊び、書道、音楽、スポーツなどなんでも。
子どもたちに体験させたいこと、伝えたいことがある人！
※1年を通して子どもたちに指導してもらうこともあります。(団体でも可)

こうし 歴史発見！

第32回

合志市の今昔 その一 「明治以降」

今回から旧大字単位での変遷をたどってみます。まずはその始まりから。

大字のもととなった旧村は、明治9年、旧合志町域では福原村・幾久富村・豊岡村・栄村として誕生(竹迫町・上庄村は既存)し、同じく旧西合志町域では野々島村・合生村・御代志村として誕生(須屋村・上生村は既存)しました。

明治22(1889)年には、それらの町村が合併して、それぞれ合志郡合志村・同西合志村となり、それまでの町村は大字となりました。

ちなみに合志村という地名は、村民の申し出により、「歴史上合志郡の中央上庄村に合志氏代々在住の城跡がある」ことから名付けられ、一方、西合志村という地名は、村民の申し出により「合志郡の西端に位

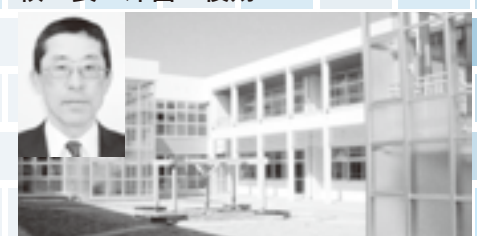
置することから名付けられたとの記録が残っています。
明治29(1896)年、合志郡は菊池郡と合併して両村とも菊池郡になり、昭和41(1966)年、どちらも町制を施行し合志町・西合志町となりました。
両町とも、明治大正期の人口は四千八百五十人台で推移していましたが、昭和20年前後に各町内の二つの地域で食糧増産と復員者などのための開拓が始まり、その地域は以後の人口増加の舞台となりました。明治時代から現在までの人口の推移は表のとおりです。

戸数と人口の 移り変わり	明治15(1882)年		昭和41(1966)年		平成22(2010)年 3月末	
	戸数	人口(人)	戸数	人口(人)	戸数	人口(人)
旧合志町	915	4,208	1,524	8,944	8,591	23,987
旧西合志町	905	4,221	2,187	9,304	11,685	30,869
計	1,820	8,429	3,711	18,248	20,276	54,856

学校紹介

～西合志中学校～

平成22年4月9日現在
生徒数…243人 職員数…30人
校長…津留 俊則



校訓 自立 健康 創造

教育目標 全ての教育活動を通して「生きる力」を育成する
(人間尊重の精神を基底におき、家庭・地域社会と連携して)

■教育活動キーワード「アカシア」

「アカシアの花咲く小径」と校歌に歌われている「アカシア」を教育活動のキーワードとして取り組んでいます。
ア:頭を使う カ:感性を研く シ:視野を広げる ア:汗を流す

創立63年ですが、平成20年11月1日に校舎と体育館の落成式を行ない、新築の校舎で新しい歴史をスタートしたばかりです。
生徒会は、毎年自分たちのテーマを設定し、自主的な活動に取り組んでいます。平成21年度のテーマは「新たな挑戦～自分の一歩を踏み出し、次なる一歩へ～」でした。平成22年度のテーマは「努力の足跡～踏み出す一歩が道となる～」です。



▲新築の体育館での生徒総会

学校としては、「社会の中で他人との関わりを大切に気持ちよく過ごすために、何をすればいいかを考える力、判断力、創造力を身に付けさせる」ために、体験学習を重視しています。1年農業体験学習、2年職場体験学習、3年福祉体験学習と3年間を見通した体験学習をそれぞれ3日間実施しています。残念ながら、平成21年度は、1年の農業体験学習は新型インフルエンザの関係で中止でした。

▲3年生の福祉体験学習



11月に実施するアカシア祭(文化祭)では、毎年3年生が、地域の人の指導を受け、弁天太鼓に挑戦しています。

勇壮な弁天太鼓の披露▶